



どのような未来を目指すための事業か

快適な生活環境づくりに向け、
汚水処理人口普及率を向上させるため

下水道管をつくります

地元の声

- ・伊勢崎市の汚水処理は遅れているので、早く下水道を整備してほしい。（地域住民）
- ・単独浄化槽が寿命なので、すぐに下水道につなぎたい。（地域住民）

事業前

- ◆下水道が未整備の区域があります。
- ◆公共下水道の一部は広瀬川をポンプ圧送しているため、維持管理コストがかかっています。



事業後

- ◆幹線が整備されることで、下水道整備区域が広がり、汚水を流せるようになります。
- ◆公共下水道の一部を流域下水道に切り替えることで、自然流下の区域が増えて、効率的な汚水処理が可能になるとともに、汚水処理人口普及率の増加が見込めます。

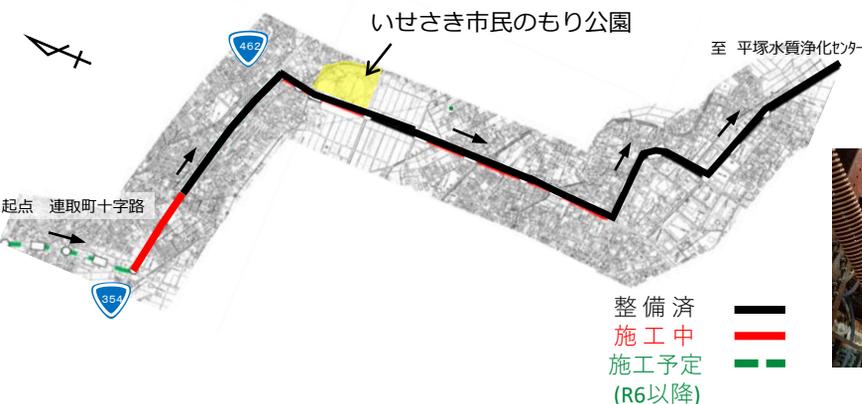


事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市境平塚ほか
- 事業内容：管渠築造 L=12,770m
- 事業期間：平成21年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は引き続き、管渠築造工事を実施します。



施工状況

事業のすすみ具合

